

京都府 & 同志社大学(経済学部・法雲ゼミ)

令和 6 年度大学・学生とともにのばす京都プロジェクト共同事業



「大学生と探る!夏休みの自由研究サポートプロジェクト」開催

2024年夏

大学生と探る!

自由研究 - ワークシート -

夏休みの自由研究「どう進めれば良い?、どのように計画するの?」の親子の悩みに応えるため、大学生が探究をサポートするワークシートを作りました。

\\身のまわりの不思議を学びで解明しよう! /

【主催】同志社大学経済学部・法雲ゼミナール

自由研究ワークシート 1. タイトルを決める <45 分>

1.1 自分がワクワクするテーマを3つ書いてみよう!

テーマ 1:	テーマ 2:	テーマ 3:

1.2 テーマからきっかけ・目的を考える

--	--	--

決まったら口の枠に○をしよう

※テーマが難しい場合は、好きな勉強、好きなもの・趣味・スポーツ・遊び、最近、楽しかったこと、感動したことなど、いろいろと書き出してみよう。

メモ:

3.4 時間の管理 いつまでに何をする? <8月>

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

3.4 時間の管理 実験や調査で時間が限られる場合は、時間も管理しよう!

日	月	火	水	木	金	土	日
6	7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28	29
30	31						

オリジナルで自由研究サポートのワークシートを作成

■基本情報:

- ①同志社大学(経済学部) ②法雲俊栄 ③大学生と探る!夏休みの自由研究サポートプロジェクト
- ④活動地域: 同志社大学 今出川校地 2024 年 8 月 1 日(木)良心館RY301 室、2 日(金)至誠館 S4 室
- 参加者子ども 11 名(対象:小学生)、事業学生スタッフ(法雲ゼミ 3 年生他)24 名。

■成果報告:

- ⑤府政課題「子育て」を支援
- ⑥子育て世代の親子と交流し、SDGs 子ども達に教育支援を提供し社会・地域貢献した。



1. 広報の難: SNS 告知による情報発信が子育て世代に上手く伝わらない・届かない。
2. 共働き世代への支援: 共働き、育児の環境下により、家庭学習が困難な子どもが多い。
3. 豊富なコンテンツが必要: 幅広い科目ジャンルのコンテンツが必要。
4. 地域交流の機会が必要: 大学生と地域住民が交流する場が必要。

参加者親子方へのアンケート調査:

楽しく探究していた。夏休み課題を早期に終わらせることができた。
子どもが能動的に課題を進めている姿を見て感動した。など。

- ⑦事業学生スタッフの思い。 子どもたちの好奇心や探究心が凄い。
保護者にも凄く喜んでいただけて良かった。

■本取組の意義:

小学校における自由研究は、1947 年、戦後の教育改革にともない「児童の自発的な活動」を促す取り組みとして、小学 4~6 年生の授業科目で導入されました。その 4 年後、自律的な活動(児童会、学級会、クラブ活動など)が重視され、科目としては無くなりますが(参考:文科省、学制百年史より)、今日でも多くの学校で、夏休みの宿題として残されています。夏休み中の自由研究において、児童の自発的な活動により進めることができれば望ましいですが、実際は、親の協力や負担割合が大きく、今日の共働き環境、児童のスポーツ活動、習い事など、親子ともに多忙な生活下で、子どもの興味を探り出し、探究時間を確保することは大変難しいといえます。

私どものゼミでは、このような児童のゆとりが無い生活環境下において、現代における自由研究の取り組み意義、ICT を活用した指導の軽減策、進め方の良策は何か?を問として、親子が楽しく取り組むことができる仕組みづくりを模索するため、本プロジェクトを実施いたしました。

